令和5年度島原市当初予算概要ダイジェスト版

一般会計 当初予算額

241億6400万円

（前年度比0.3%）

「 暮らしに向き合い　とことん子育て応援 」をテーマとして、

引き続き「第2期 まち・ひと・しごと創生総合戦略」の各種施策に取り組みます。

	令和5年度	令和4年度	伸び率
一般会計 （A）	241億6,400万0千円	240億8,800万0千円	0.3%
特別会計 （B）	73億7,629万4千円	74億6,435万6千円	△1.2%
合　計 （A+B）	315億4,029万4千円	315億5,235万6千円	△0.04%

●一般会計の特徴と総額の増減要因

○ 人口減少対策並びに地方創生を目指す**「第2期 まち・ひと・しごと創生総合戦略」は　119事業　予算額 約28億9,000万円**

○ **「暮らしに向き合う」の推進**　地域コミュニティの推進とコミュニティバスによる利便性向上、光回線未整備地域整備と自治体DXの推進、島原城築城400年関連（島原城整備、無電柱化事業）、島原自転車道線整備など

○ **「とことん子育て応援」の推進**　福祉医療費（乳幼児、子ども、ひとり親等）、放課後児童健全育成事業所の整備、子育て応援新入学児童ランドセル支給と学校給食費支援補助など

事業別増減要因

【増加要因】 **浄化槽設置整備事業**（約1億9,400万円増）
無電柱化事業（約1億1,400万円増）
島原自転車道線整備事業（約1億500万円増）
農業用施設整備事業（約9,500万円増）
光回線未整備地域整備事業（約8,100万円皆増）

【減少要因】 **認定こども園施設整備事業**（約5億1,500万円減）
島原城整備事業（約1億7,100万円減）
平成町人工芝グラウンド改修事業（9,100万円皆減）

● 歳入歳出予算の概要

	主な費目等	予算額	前年度比較	増減の要因
歳入	**市税**	約45億8,100万円	約1億4,800万円増	固定資産税及び都市計画税の減免措置終了、給与所得による増額等
	市債	約13億5,000万円	約3億3,600万円減	認定こども園施設整備事業費や島原城整備事業費の減額等
	国庫支出金	約43億8,600万円	約1億4,700万円減	保育所等整備交付金、認定こども園施設整備交付金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の減額等
歳出	**物件費**	約35億2,200万円	約1億4,800万円増	島原城整備事業にかかる樹木剪定等業務委託料の皆増、原油価格・物価高騰の影響による光熱水費の増額等
	補助費等	約27億9,000万円	約1億700万円増	農業経営高度化支援事業や新規就農者育成総合対策事業、小・中学校学校給食費支援補助金の増額等
	投資的経費	約24億3,300万円	約1億9,500万円減	認定こども園施設整備費補助金や、島原城整備事業費、公営住宅管理経費などの減額等

※増減額が大きいもの

● 主な事業

◎は新規事業

	地域コミュニティ推進事業・協働関係経費	921万円	
	コミュニティバス運行事業	5,913万円	
	ロケツーリズム推進事業	651万円	
	ふるさと納税関係経費	5億5,844万円	
◎	光回線未整備地域整備事業	8,100万円	
	自治体デジタル・トランスフォーメーション（ＤＸ）推進経費	755万円	
	地域再エネ導入に向けた調査事業	1,070万円	
	産地生産基盤パワーアップ事業	4,307万円	
	水産物供給基盤機能保全事業	5,520万円	
◎	ワーケーション活用事業	130万円	暮らしに向き合う
◎	地域おこし協力隊古民家活用事業	658万円	
	島原城築城４００年記念事業	1,000万円	
	島原城整備事業	7,950万円	
	無電柱化事業	2億2,660万円	
	堀町縦線整備事業	1億8,525万円	
	島原自転車道線整備事業	1億1,500万円	
◎	道の駅基本計画構想策定	1,000万円	
	安徳新山線整備事業	3億7,016万円	
	浄化槽設置整備事業	4億4,984万円	
	福祉医療費（乳幼児、子ども、ひとり親等）	1億1,400万円	
◎	放課後児童健全育成事業所整備事業	2,476万円	
	すこやか赤ちゃん支援事業	960万円	
	保育所等副食費助成事業	3,618万円	とことん子育て応援
	出産・子育て応援交付金	3,797万円	
◎	子育て応援新入学児童ランドセル支給事業	611万円	
	ＪＦＡこころのプロジェクト「夢の教室」	479万円	
◎	小・中学校学校給食費支援補助金	2,400万円	